

## 編集後記

■年の瀬も押し迫り、流行語大賞やヒット商品大賞が次々に発表される時期になりました。今年流行したのものとしては、「北陸新幹線・火花・インバウンド消費・五郎丸ポーズ」などを挙げる方が多いのではないのでしょうか。ちなみに、10年前の2005年の流行を調べてみると、「iPod・株式ネット取引口座・クールビズ・想定内(外)・ちょい不良オヤジ」などでした。今となつては、完全に定着しているか、それを超える商品が誕生していますね。

今回インタビューに登場していただいたアイリスオーヤマの大山会長は、消費者ニーズから市場を創り出す＝流行を創り出すことに成功されてきました。一方、対談に登場していただいた自然科学研究機構の佐藤機構長は、時空の創造過程を明らかにするインフレーション理論を提唱された方でした。こう考えてみると、今回の隠れた共通テーマは「時の創造」であったかもしれません。さてさて、10年後は何が流行っているのでしょうか？ そうしたことに思いをはせながら、除夜の鐘を聞きたいと思います。読者の皆様も良い年をお迎えください。(高橋)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。  
([http://www.boj.or.jp/announcements/koho\\_nichigin/index.htm/](http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/))

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)をご覧ください。

にちぎん 2015年冬号  
編集・発行人 高橋経一  
発行 日本銀行情報サービス局  
〒103-8660  
東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
☎03-3277-2405



デザイン 株式会社市川事務所  
印刷 株式会社アイネット  
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

\*本誌の用紙は、環境・社会・経済のすべての側面に配慮した厳しい基準に従って適切に管理された森林からの木材を原料としていることを示す、FSC認証紙を使用しています。

## 「にちぎん体験二〇一五」を開催

十月二十六日(月)～十一月四日(水)

▼日本銀行本店(東京都中央区日本橋)では、毎年行う秋のイベントとして「にちぎん体験二〇一五」を開催しました。平日のレクチャー付き見学ツアーの他、土日には企画展とミニ見学付き市民講座を実施し、八日間で延べ約三〇〇〇人の方にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。

▼レクチャー付き見学ツアーでは、



体験コーナーで、お札の偽造防止技術を確認!

国の重要文化財に指定されている本店本館(旧地下金庫エリア、旧営業場など)や新館営業場へご案内した後、「日本銀行の仕事」をテーマに、

日銀職員がご説明しました。  
▼休日の二日間には、「あなたの街の日本銀行」と題した企画展で、支店の業務のご紹介と、北村公司画伯による本誌の表紙絵とともに、各地域から選んだ八支店についての展示を行いました。その他、金塊レプリカの重さ体験や偽造防止技術などの体験コーナーも大変なごわいを見せました。  
▼ミニ見学付き市民講座では、「お札の一生と日本銀行」「金融機関による創業・事業再生支援について」「日本のお金一三〇〇年の歴史」「日本銀行本店の歴史」といった身近な

テーマを取り上げ、実際に関係した仕事に携わる日銀職員よりお話しさせていただきました。  
▼日本銀行では、今後も皆さまが楽しんでながら日銀を身近に感じていただけるようなイベントを実施していきたいと考えています。今後のイベント情報につきましては日銀HPをご覧ください。  
▼なお、通常、平日に本店見学ツアーを実施していただきます。事前のお申し込みにより随時ご参加いただけます。



通常の本店見学についてはこちらから